AEON

株式会社イオンファンタジー

証券コード：4343

株主の皆さまへ

第20期期末 株主通信 2015.3.1 → 2016.2.29

イオンファンタジーフィリピン営業部長
MA. MARSHA MIAGAO

©AEON Fantasy Co.,LTD.

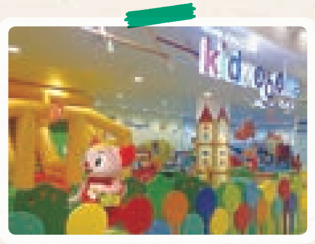
株主・投資家の皆さまへ

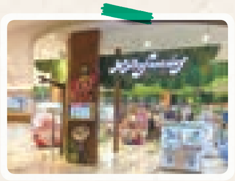
当期の事業状況

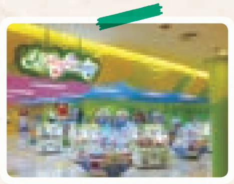
2016年２月期は、成長戦略の核となる海外を中心に積極的な新規出店を実施いたしました。当期は過去最大となる124店舗（直営店122店舗、フランチャイズ（以下「ＦＣ」という）２店舗、前年同期86店舗）の出店を行いました。また、国内において2015年６月１日に株式会社ファンフィールド（以下「ファンフィールド」という）と合併し、店舗数、売上とも業界Ｎo.1のアミューズメント施設運営企業となりました。期末現在の店舗数は、国内496店舗、海外282店舗の合計778店舗となりました。

当期の連結業績は、売上高588億31百万円（前年同期比26.2％増）とファンフィールドとの合併や海外事業の積極出店による売上拡大により過去最高となりました。営業利益は、国内事業の既存店売上が９月以降に回復したことに加え、海外事業の黒字転換を達成したことにより、27億48百万円（同4.5％増）と２期連続の増益を達成いたしました。経常利益は、為替差損が発生したことにより26億30百万円（同23.0％減）と減益となりましたが、当期純利益は14億80百万円（同10.6％増）と２期連続の増益を達成いたしました。

代表取締役社長　片岡 尚







国内事業の実績

国内事業は、売上構成比の８割を占める遊戯機械の既存店伸び率が９月以降６ヶ月連続でプラスとなり、通期においても前年を超え2.1％増となりました。とりわけ第４四半期連結会計期間では、遊戯機械の既存店伸び率が8.0％増となり、ファンフィールドとの合併効果もプラスに働いたことにより、営業利益は前年より５億７百万円の増益となりました。

９月以降の売上改善は、バイイング体制の変革、物流体制の改善、社内ＳＮＳの活用、遊戯機械の改廃等の効果によるものです。特に時間制遊具部門は、67店舗に"光る立体遊具"を導入した効果が大きく、年間の既存店伸び率は11.3％増と好調に推移いたしました。

また、店舗鮮度の維持と収益力向上を目的に積極的なスクラップ＆ビルド（16店舗の閉店と16店舗の新規出店）と42店舗の活性化を実施いたしました。

以上の結果、国内事業における当期の業績は、売上高498億71百万円（前年同期比21.1％増）、営業利益26億83百万円（同7.9％減）となりました。

海外事業の取組み

海外事業は新規出店の拡大と営業利益の黒字転換を実現いたしました。中国およびアセアン諸国において、当期は６ヶ国で108店舗（直営店106店舗、ＦＣ２店舗、前年同期74店舗）と過去最大の新規出店を実施いたしました。とりわけ中国は、当期に53店舗の出店を行うなか、初めて営業利益の黒字化（１億85百万円）を達成いたしました。2015年４月に中国北京にオープンした新業態「ＦＡＮＰＥＫＫＡ」は、お客さまからの支持も高く好調に推移しており、12月には武漢に２号店をオープンいたしました。2014年に進出したフィリピンは当期に12店舗を出店、また当期より出店を開始したインドネシアは５店舗を出店し、ともに順調に店舗網を拡大しております。海外における店舗数は、2016年２月末で282店舗（直営店270店舗、ＦＣ等12店舗、前年同期末180店舗）となりました。

以上の結果、海外事業における当期の業績は、売上高90億54百万円（前年同期比64.7％増）、営業利益64百万円（前年同期より３億48百万円の改善）となりました。

通期の見通し

2017年２月期は、売上が回復傾向の国内事業については、確実に増益基調へと転換させるとともに、黒字化した海外事業については、積極的な拡大を図ってまいります。

国内事業は、モーリーファンタジーのブランド確立を目指し、「当社発の新しい遊び」や「こころ・あたま・からだの健全な成長につながる遊び」を展開していくとともに、昨年合併したファンフィールド店舗のモーリーファンタジー化を推進してまいります。

海外事業は、引き続き100店舗以上の積極出店を計画しております。特に中国、フィリピン、インドネシアにおいて出店を加速させてまいります。また2015年４月に初出店し好評を得ております新業態「ＦＡＮＰＥＫＫＡ」は、中国およびアセアン諸国において今期７店舗の新規出店を計画しております。

以上により、2017年２月期の連結業績予想は、売上高650億円（前年同期比10.5％増）、営業利益30億50百万円（同11.0％増）、経常利益27億50百万円（同4.5％増）、親会社株主に帰属する当期純利益16億20百万円（同9.4％増）を見込んでおります。

今後とも株主の皆さまの一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

すべての国で一番の「遊びのブランド」に。

フィリピンの国民性に沿った戦略的な『キッズーナ』の展開

片岡社長：2014年5月にイオンファンタジーフィリピンを設立し、同年11月に1号店をマニラ郊外にオープンさせて、現在は14店舗まで広がっていますね。

京極社長：はい。おかげさまで順調に店舗数が拡大しています。

片岡社長：フィリピンのお客さまの国民性というのはどのようなものでしょうか？

京極社長：とても明るい国民性です。パーティーを開いたり、人を喜ばせることが好きな方が多いです。私どもの事業についてもご理解いただき、大いにご満足いただいていると思います。

片岡社長：フィリピンでは14店舗すべてがキッズーナなんですよね。他の国ではモーリーファンタジーがメインの中、なぜですか？

京極社長：まず一つはアミューズメントのゲーム単価が非常に安いこと（1プレイが12～13円程度）です。さらにアミューズメント関連の競合大手企業が国内で4社あるためです。一方、ショッピングモール内に子どもたちの大きな遊び場が少なく、キッズーナはこれまでのフィリピンにはなかった新しい遊び場ということで好意的に受け止められています。また、フィリピンはとても暑い気候な上に、所得格差が大きいため、子どもたちが外で安全・安心に遊べる環境が少ない。そういった中でキッズーナというのは、親御さんが「ここで子どもを遊ばせたい」と思っていただける場所になっているのでしょう。

片岡社長：それは非常に嬉しいですね。2年間フィリピンで取り組まれてきましたが、一番苦労された点は何ですか？

京極社長：内装工事、輸入に関しても様々な問題がありましたが、一番はやはり設立当初ですね。1号店は、片岡社長が直接ロビンソンズ・リテールグループ※のトップにプレゼンテーションをしていただいたおかげでスムーズに出店が決まったのですが、その後はたいへん苦労をしました。フィリピンはイオングループのショッピングセンターが出店していない国ですから、出店が続かないのではと不安を覚えました。それでも、1号店の成功に加え、やっとの思いで最大手のSMグループに出店した3号店の評判が良く、昨年夏頃から出店のオファーをたくさんもらえるようになり、中心街であるマニラでも家賃をある程度抑えながら大きなスペースを確保できるようになりました。

片岡社長：コネクションもなく苦労された中で、1号店や3号店の成功が新たな出店に波及していったのですね。1号店は本当にとても良いお店ができましたからね。オープンを見た時に、私はフィリピンでの成功を確信しました。

「子どもを遊ばせたい場所」として ブランドを確立できるように

京極社長：実は、1号店にはもう一つ思い出があるんです。内装工事や輸入の遅れによって、オープン日を迎えても遊具が半分しか届いていない状態だったのですが、片岡社長に「プロモーションとして、1ペソで営業しなさい」とおっしゃっていただいて。本当にタダ同然の値段なので、それを聞いた私も現場のスタッフも、これだけ苦労して作ってきたのに、と正直なところ抵抗もありました。ただ、そのプロモーションがとても評判を呼び、行列ができるほどにまで人気を博しました。イオンモールがないフィリピンにおいては、あのプロモーションこそが最初にキッズーナの知名度を高めてくれたものだと思っています。

片岡社長：懐かしいですね。遊具が揃っていなかったので、「つまらないな」と思われるよりは、「まだ完成していないけど、試しに遊んでいってください」という気持ちでプロモーション期間を設けようという発想でしたよね。

京極社長：はい、今では本当に感謝しております。当時はかなり抵抗がありましたが（笑）。

片岡社長：そうですよね（笑）。それでは今後、イオンファンタジーフィリピンという会社を、どのような会社にしていきたいと考えていますか？

京極社長：フィリピン中の親御様に、「子どもを遊ばせたい場所」＝「キッズーナ」と言われるような存在を確立させたいです。

片岡社長：素晴らしいですね。ぜひ確立していただきたいです。例えば、それを具体的な数字で表すと何店舗くらいになるのでしょうか？

京極社長：毎年12～15店舗をオープンしていき、2018年には50店舗を超えたいと思っています。

片岡社長：京極社長が言うように、日本・中国・マレーシア・タイ・ベトナム・カンボジア・フィリピン・インドネシアと8カ国で展開しているすべての国において、「あそこで遊びたい」と思っていただける一番のブランドになっていきたいですね。ともにアジアNo.1のエンターテイメント企業を目指しましょう！

※フィリピン第2位のマルチフォーマット小売業会社。ロビンソンズ百貨店、ロビンソンズ・スーパーマーケット等を展開。

トピックス1

海外事業の黒字化

海外事業全体で営業利益の**黒字転換を達成。**

中国事業が営業利益で前年差+428百万円と大きく改善。

100店舗達成した中国（2015年9月）
事業エリアを拡大し、今期新規53店舗出店

インドネシア1号店（2015年4月オープン）

トピックス2

過去最大の新規出店

124店舗の新規出店。

（国内16店舗、海外106店舗、海外FC2店舗）

前年同期は86店舗新規出店。

（国内12店舗、海外70店舗、海外FC4店舗）

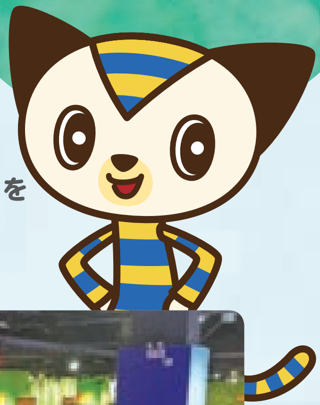
50店舗達成したタイ(2015年10月)

新規出店が加速しているフィリピン

トピックス 3

新業態FANPEKKAの成功

中国チェーンストア経営協会が選出する2015年「チェーンストア・ブランド最人気賞」を
FANPEKKAが受賞。
(2014年には、当社ブランド「モーリーファンタジー」(莫莉幻想)が同賞を受賞)



フィンランドの文化や教育を遊びに取り入れた
FANPEKKA 1号店 北京
(2015年12月には武漢へ2号店オープン)

トピックス 4

国内事業の回復

2015年9月より国内既存店が回復。遊戯機械売上の既存店伸び率は6ヶ月連続でプラスとなる。

モーリーファンタジーとなみ店
当社のキャラクターたちが住む“森”をイメージした絵本のような空間
(2015年7月オープン)

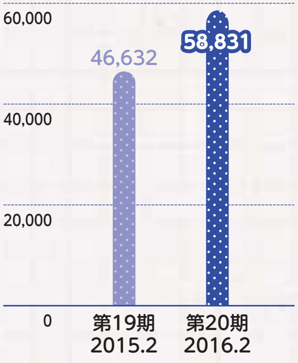
財務ハイライト

売上高
第20期 …… 58,831百万円
第19期 …… 46,632百万円

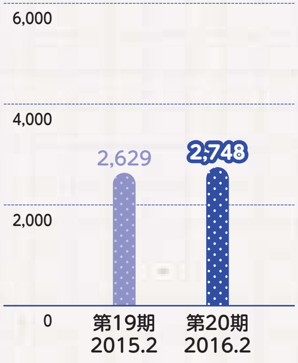
営業利益
第20期 …… 2,748百万円
第19期 …… 2,629百万円

当期純利益
第20期 …… 1,480百万円
第19期 …… 1,338百万円

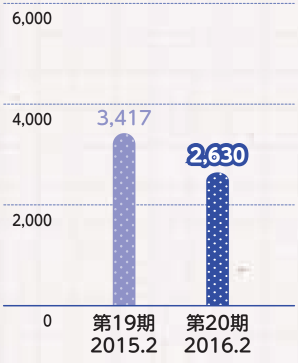
売上高 （単位：百万円）



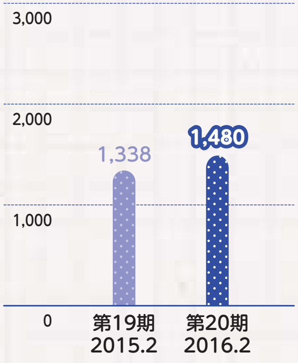
営業利益 （単位：百万円）



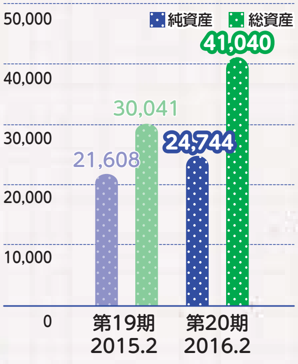
経常利益 （単位：百万円）



当期純利益 （単位：百万円）

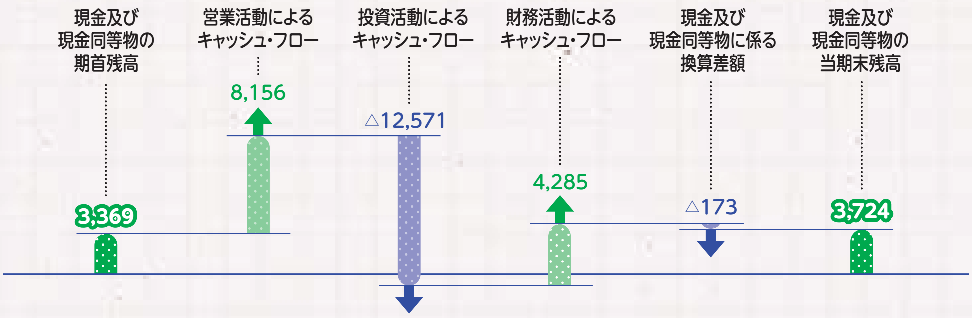


純資産／総資産 （単位：百万円）



キャッシュ・フローの状況 （単位：百万円）

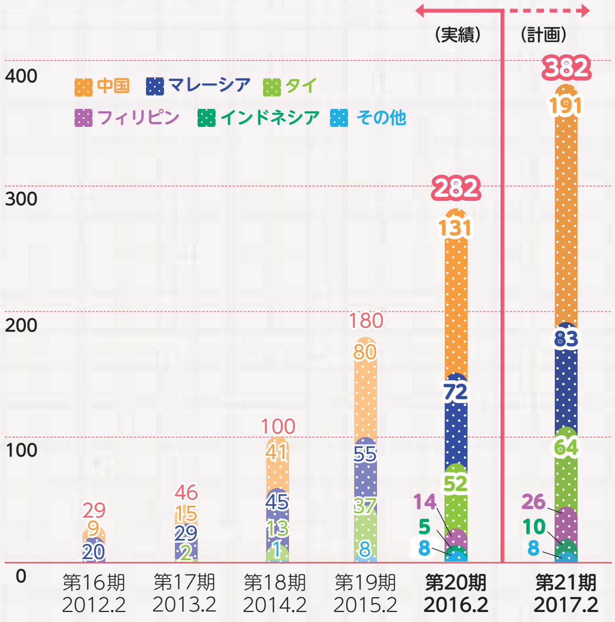
当期 （2015年3月1日から2016年2月29日まで）



海外事業

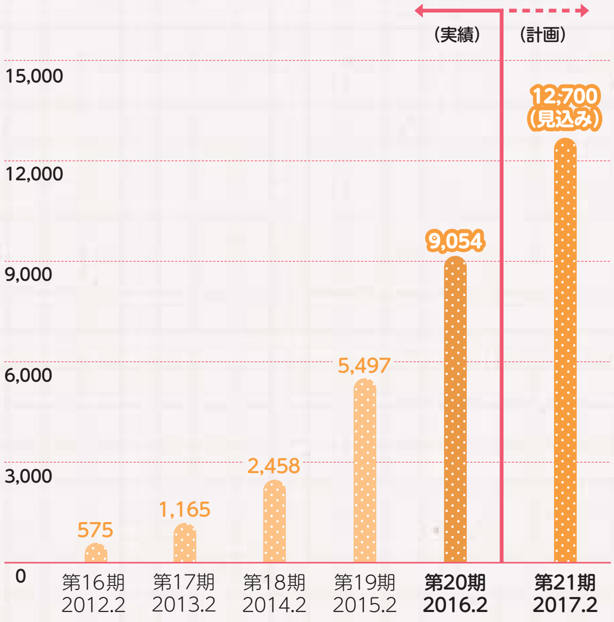
海外店舗数の推移

（単位：店）



海外事業売上高の推移

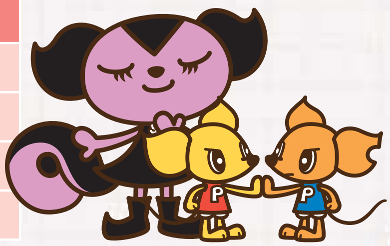
（単位：百万円）



前期比較可能な各社の収益

（単位：百万円）

	中国		マレーシア		タイ		フィリピン	
	2015 2月期	2016 2月期	2015 2月期	2016 2月期	2015 2月期	2016 2月期	2015 2月期	2016 2月期
売上高	3,531	6,423	1,475	1,569	470	634	21	310
店舗利益	257	910	275	312	28	△42	△5	38
販管費	501	725	128	165	94	90	50	87
営業利益	△243	185	147	147	△66	△132	△56	△49



社会貢献活動

株式会社イオンファンタジーでは、地域社会に根ざす「良き企業市民」としての社会的責任を果たすべく、様々な環境保全・社会貢献活動に取り組んでいます。

ファンタジースマイルデー

「毎月11日は あそんで募金」

毎月11日、店内にある対象遊具で遊んでいただいた売上の10%相当金額を東日本復興支援活動、子ども支援活動、環境保全など様々な支援活動に役立てています。

ファンタジースマイルデーあそんで募金の実績	
2015年度金額	5,222,070円

こども支援活動

・社会福祉施設等支援活動

社会福祉施設の子どもたちをお店にご招待したり、当社キャラクターのララちゃん・イオくんによる社会福祉施設への訪問活動を実施しています。この活動は日本だけでなく、海外子会社でも実施しています。

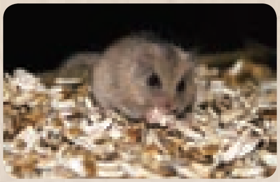
●ご招待会・社会福祉施設への訪問活動回数

	日本	中国	マレーシア	タイ	フィリピン
活動回数	156	63	85	13	1

環境保全活動

・ニホンヤマネを守る活動

ニホンヤマネは森林の樹上を生活圏とする日本特産種の「生きた化石」であり、準絶滅危惧種に指定されています。私たちの緑を守るため日本経団連自然保護基金を通じ「ニホンヤマネ保護研究グループ」を支援しています。



第25回 ララ夢

七夕、クリスマスの年2回3,000通を超える応募の中から、ララちゃんが夢をかなえるお手伝いをしています。

❶青森県 みゆちゃん(7さい) ゆなちゃん(9さい)の夢
「おじいちゃんおばあちゃんに、畑でとれたりんごをつかって、おいしいりんごケーキを作ってあげたい!」

❷宮崎県 ひかるくん(12さい) たけるくん(10さい)の夢
「宇納間エイサーと一緒にエイサーをおどりたい!」
ご協力:美郷町北郷・うなまエイサー「流星會」のみなさま

❸北海道 ゆかちゃん(10さい)の夢
「北海道大学で海外から来た人と話したり、星のこと研究しているところをみてみたい。」
ご協力:北海道大学さま、Vixenさま

会社概要

会社概要　(2016年2月29日現在)

商号	株式会社イオンファンタジー
本社所在地	〒261-8504　千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1 TEL:043-212-6203　FAX:043-212-6840
ホームページ	http://www.fantasy.co.jp/
設立	1969年10月(実質上の設立1997年2月)
資本金	17億4,713万9千円
事業内容	ショッピングセンター内「アミューズメント施設」 及び「インドアプレイグラウンド」の運営
従業員数	1,122(5,308)名(連結) ※カッコ内は、契約社員・パートタイマー(1日8時間換算)人数です。
店舗数	778店舗(連結) (日本496店舗、中国131店舗、マレーシア72店舗、タイ52店舗、フィリピン14店舗、インドネシア5店舗、ベトナム6店舗、カンボジア2店舗)　※FC等を含む

役員 (2016年5月23日現在)

代表取締役社長	片岡　尚
専務取締役	林　克己
常務取締役	新田　悟
取締役	田村　純宏
取締役	梶田　茂
取締役	藤原　徳也
取締役	高野　恭子
取締役	神谷　和秀
取締役	大矢　和子
取締役	人見　信男
常勤監査役	藤原　雄三
監査役	中野　信雄
監査役	平野　雅彦
監査役	杉本　茂次

ホームページ(IR)のご案内

http://www.fantasy.co.jp/company/ir

決算・財務資料やニュースリリース、株主優待制度などについての情報提供を行うほか、決算説明会の模様を映像で紹介しています。ぜひ、ご活用ください。

株式状況　(2016年2月29日現在)

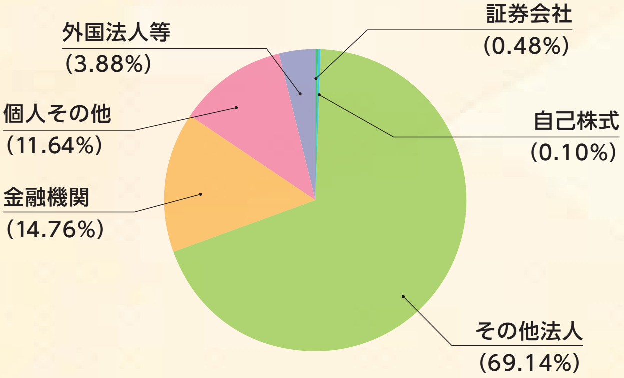
発行可能株式総数	50,000,000 株
発行済株式の総数	19,713,825 株
株主数	13,099 名

大株主(上位11名)

株主名	当社への出資状況 持株数（千株）	持株比率（%）
イオン株式会社	11,373	57.75
株式会社ダイエー	1,538	7.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,272	6.46
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	476	2.42
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	237	1.21
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	202	1.03
ビーエヌワイエムエル　ノン　トリーティー アカウント	127	0.65
野村信託銀行株式会社 (投信口)	117	0.60
マックスバリュ西日本株式会社	114	0.58
イオンフィナンシャルサービス株式会社	114	0.58
イオンモール株式会社	114	0.58

(注) 1.持株比率は自己株式(20,613株) を控除して計算しております。
2.発行済株式の総数は、株式会社ファンフィールドとの合併に伴い、1,538,137株増加しております。

所有者別株式分布状況



株主優待制度のお知らせ

株主の皆さまにご利用いただきやすい優待制度を設けています。
このたび、より一層の株主優待制度の充実を図るべく、内容を一部変更いたしました。
1,000株以上ご所有の株主さまに対して、従来の株主優待品に加えて、株主さまの選択肢が広がるよう
イオンギフトカードや国産有名ブランド米の選択肢を追加いたしました。

**2月末日現在でご所有株式数
100株以上1,000株未満の株主さまに**

特典1 3,000円相当の株主ご優待券を進呈

＋

特典2 「魚沼産コシヒカリ新米3kg」の進呈

※ミディ胡蝶蘭については6月下旬前後、イオンギフトカードについては
7月下旬前後、新米については10月下旬前後の発送を予定しております。
※詳細及び最新の情報につきましては下記URLをご参照下さい。
http://www.fantasy.co.jp/

**2月末日現在でご所有株式数
1,000株以上の株主さまに**

特典1 6,000円相当の株主ご優待券を進呈

＋

特典2 イオンギフトカード(4,000円)又は
「ミディ胡蝶蘭」又は
「国産有名ブランド米新米」の進呈
(魚沼産コシヒカリ新米5ｋｇ等の中からいずれかひとつ)

〈株主ご優待券対象施設〉

- **モーリーファンタジー、モーリーファンタジーｆ、PALO、らんらんらんど**
  (メダル、メダル有料イベント、体感ゲーム、定置乗り物、メリーゴーランド、
  ファンタジースキッズガーデン、わいわいぱーく、ボールプール、きぽっと)※一部対象外のゲーム機がございます。
- **ファンタジーキッズーナ**（施設利用料金のみ）
- **東京こども区こどもの湯**（施設利用料金のみ）
- **Cafeもりっちゃ赤羽**（施設利用料金のみ）

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
基準日	期末配当、定時株主総会　2月末日 中間配当　8月末日 (そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします)
定時株主総会	5月
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 当社の公告はホームページ(http://www.fantasy.co.jp/)に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目４番１号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
電話照会先	0120-782-031
上場市場	東京証券取引所市場第一部(証券コード：4343)

木を植えています
私たちはイオンです

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C022915
www.fsc.org

VEGETABLE OIL INK

環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。